

『Mind Charging』

第 108 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 9 月 9 日

ジョン・アダムズの名言



Grief drives men into habits of serious reflection, sharpens the understanding and softens the heart.

人間というものは、悲しみを味わうことによって、否応なく真剣に考える習慣ができ、
理解力が一層深まり、柔和な心をもつようになるのである。

この言葉から『ずっと順調であることなどはない』ということや『平坦な人生で得られるものは少ない』といったメッセージが受け取れます。私はこの言葉にある『悲しみ』は失敗した時の気持ちだと考えました。失敗した瞬間は、せつかく頑張ったことや勇気を出してチャレンジしたことが否定されたような気がして悲しい気持ちになります。しかし、その失敗をバネにするという大きな経験や、『二度と同じ失敗はしない！』という決意と、そのための努力の仕方が身につきます。そんな繰り返しを経て私たちはこれまで成長してきたと思います。そういう意味では彼は当たり前のことをしっかりとした言葉にして伝えてくれているのだと感じますし、当たり前のことをしっかりと積み上げていくことの重要性を説いてくれているのではないのでしょうか。当たり前のことを当たり前に行える。そんな人間に成長していきたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

ジョン・アダムズ(John Adams、1735 年 10 月 19 日(ユリウス暦)/10 月 30 日(グレゴリオ暦) - 1826 年 7 月 4 日)は、アメリカ合衆国の政治家。副大統領(初代、1789 年から 1797 年の 2 期)、大統領(第 2 代、1797 年-1801 年)。アメリカ海軍創設者である。アメリカ合衆国建国の父の中でも最も影響力があった者の一人とされている。アダムズはアメリカ革命の初期に著名になった。大陸会議にはマサチューセッツ湾植民地の代表として出席し、1776 年に大陸会議がアメリカ独立宣言を採択するときに指導的な役割を果たした。大陸会議からヨーロッパに派遣され、イギリスとのパリ条約締結では交渉の主役となり、またアムステルダムから重要な借款を得る中心人物だった。(Wikipedia 参照)